

地域連携ネットワークづくりの実例と今後の展望

長野県須坂市健康福祉部地域医療福祉ネットワーク推進室室長 小林 美佐子

【取り組みの背景】

須高地域とは須坂市・小布施町・高山村の3市町村からなる地域で、人口72,600人・高齢化率26.2%である。地域で安心してお産ができ、そして誰もが、寝たきりになっても、認知症になっても、癌などの病気になっても、終末のときも”自分の居場所がない”というような状況にならないよう、地域のどこに（在宅・施設・病院）に居ても、一人ひとりにあった保健・医療・福祉・介護サービスが切れ目なく一体的・包括的に受けられるようなシステムの構築を目指す必要がある。

2008年7月「住民と共に産科医招聘を担う」、「地域医療福祉ネットワークの構築」の目的で県立須坂病院（以下、病院）から地域医療連携室を経験しているということで須坂市役所へ「地域医療福祉推進役」として派遣された。今年4月からはさらに須高地域全体でネットワーク推進事業を継続発展させるため、地元医師会と契約し医師会館内に「地域医療福祉ネットワーク推進室」を設置し、室長としてネットワーク推進事業に取り組んでいる。

【産科医招聘を巡る取り組み】

2008年4月から病院の産科医不足により地域でお産ができないということから、子育ての若い母親たちが「地域で安心して子どもを産み育てることができることを望む会」を立ち上げ、自治体や関係機関に働きかけ懇談会や学習会など様々な取り組みを行った。署名活動も取り組みの一つであり地域の約8割にも及ぶ5万7,920筆を集めた。また3市町村と病院との連携により、医師招聘用のパンフレットやDVDも作成し一緒に招聘活動を行った。自治体や住民の熱意ある取り組みにより2人の産婦人科医が着任し2009年3月からお産が再開した。今年4月にはさらに2人増え産婦人科医6人体制となり地域で安心してお産ができるようになった。

【地域連携ネットワークづくりの実際】

2008年8月、3市町村の行政を含む医療福祉介護の関係者が集まり「須高地区在宅医療福祉推進協議会」が発足した。多職種が連携と協働により地域独自の医療福祉方式の創設を目指し毎月課題に取り組んだ。課題1：患者・家族と医療福祉関係者が情報共有できる地域共通の「お薬手帳」の作成。課題2：在宅療養者が急変時、主治医不在でも訪問看護師との連携による診療所間の連携（輪番制）体制の構築。課題3：診療所医師が参加できる多職種による退院支援カンファレンスの充実。3点の課題に加え、『地域の医療や介護のことは地域住民が一番知っている地域になる』ことを目指し、地域の介護者やケアマネジャー・診療所医師・訪問看護師などをシンポジストに介護者が抱えている在宅での問題点や、医療と介護の連携の課題などシンポジウムを開催し検討を重ねている。さらに地元新聞と連携し住民の理解がより深まるよう地域の医療・在宅・施設の各サービス機関の機能や役割について、「地域で支え合う医療・福祉・介護」をテーマに20回シリーズで新聞に連載した。さまざまな取り組みに対する地域住民の反応から、今日の地域医療福祉のあり方についての認識が高まってきていることがうかがえる。

【今後の展望】

地域内完結型医療福祉を目指し、地域連携ネットワークは今後ますますそれぞれの地域での構築が求められる。医療福祉は地域の基本的インフラであることから住民とともに多職種が連携し創りあげ守っていかなくてはならない。そのためにはコーディネーター機能が極めて重要となるが、住民及び行政を含む多職種を繋ぐ地域連携コーディネーターが育成されていないのが現状である。地域医療福祉ネットワークづくりを包括的に推進していくためのリソースとなるコーディネーターをどのように育成していくかが地域連

携ネットワークづくりの鍵となる。日本医療マネジメント学会が今年度医療福祉連携・調整のエキスパートの養成を開始したので、近い将来各地域で地域医療福祉の円滑な連携が推進されていくと期待するところである。さらに今後多職種が効率的・効果的に情報共有を図るためには人的ネットワークとコミュニケーションツールを土台にITネットワーク化も重要な課題となる。

【小林 美佐子（こばやし みさこ）先生 ご略歴】

- 1977年 長野県須坂看護専門学校卒業
- 1977年 長野県厚生連北信総合病院
- 1983年 長野県身体障害者リハビリテーションセンター
- 1997年 長野県立須坂病院
- 2007年 同院 副看護部長
- 2001年 同院 地域医療福祉連携室専任看護師
- 2008年 須坂市健康福祉部 地域医療福祉推進役
- 2010年 須坂市健康福祉部 地域医療福祉ネットワーク推進室長

- 2006年 日本医療マネジメント学会長野支部看護師分科会長
- 2007年 日本医療マネジメント学会長野支部支部長補佐
- 2009年 日本医療マネジメント学会評議員